

令和3年度学校評価

本年度 の重点 目標	<p>(1) 地域産業の発展に寄与する有意な人材を育成するため、地域社会及び家庭との連携を密にして、主として次のことを推進する。</p> <p>ア 生徒の実態に応じて、授業改善等の指導方法の工夫に努め、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着とこれらを活用する思考力・判断力・表現力等の育成を図る。</p> <p>イ 生徒一人一人の望ましい勤労観・職業観をはぐくむため、就業体験などの機会を充実するなど系統的かつ計画的なキャリア教育を推進する。</p> <p>(2) 教職員一人一人が、明るく活力に満ちた職場環境づくりに努め、教育目標の達成に向け自己の能力を最大限に発揮するとともに、苦手な分野を互いに補完し合うことで学校の組織力の向上を図る。</p>
------------------	---

項目 (担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
管理・運営	本年度の重点目標を意識した教育活動	・合言葉を利用した重点目標の意識付け	・合言葉を職員室に掲示したり、講話などをおして重点目標を意識した教育活動を行う。
	教員の多忙化解消	・勤務時間の適正な管理	・学校閉庁日をはじめ、長期休業中や審査中等の年休取得の推進を図る。
総務部	防災意識の高揚	・避難訓練の充実	・生徒主体の防災活動を考えさせる。 ・ハザードマップを使用しながら、帰宅困難時の対応を考える。
	P T A活動の精選と同窓会との連携推進	・P T A活動の在り方の検討 ・同窓会との交流	・P T A会議を精選しながらも、積極的に行事に参加できるよう情報を発信する。 ・地域や学校行事等で同窓会との交流を深める。
教務部	新教育課程の編成	・教育課程委員会の開催	・令和4年度入学生用新教育課程の編成を行う。 ・3観点による学習評価の検討を行う。 ・シラバスの作成を行う。
情報図書部	広報活動の強化	・学校ホームページの活用・学校案内の検討	・学校ホームページを定期的に更新する。 ・学校案内のリニューアルに向けて準備する。
	I C T機器・タブレット端末の積極的な活用	・タブレット利用規定の作成 ・学習支援アプリの活用のための環境づくり	・教務部と連携し、B Y O Dの推進をはかる。 ・活用方法を研修などで共有する。
	図書館利用・読書機会の確保	・図書館オリエンテーションや各種企画の実施	・授業での利用を呼びかけたり、教科と連携した活動を工夫したりする。
生徒指導部	基本的生活習慣の確立	・分掌や学年と連携した指導	・学校全体で挨拶を積極的にするように推進をする。
	いじめの早期発見と組織的な対応	・校内アンケートの実施 ・面談週間の充実	・生徒が教員へ悩みを相談しやすい環境をつくる。 ・いじめについて組織的な対応するために、いじめ対策委員会を開催する。
	学校行事の活性化	・生徒会執行部を中心とした学校行事の自発的運営	・行事内容の見直しと委員会活動の推進を行なう。
進路指導部	自らの進路を切り開く能力の涵養	・進路L T、講演会等による職業観の育成 ・上級学校に関する情報の収集 ・進路実現に向けた基礎学力の定着	・幅広く職業を知るためにできるだけ多くの企業の方の話を聴く機会を作る。 ・進学希望者に対して、上級学校の情報にふれる機会を増やす。 ・「朝学」をとおして「学び直し」に取り組む。

保健部	健康管理に対する意識と能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・治療勧告書の配布 ・保健室だよりの発行とスクールカウンセラーの有効利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な治療が可能になるように、検診状況に合わせた勧告書の配布を行う。 ・時期に合わせた保健だよりの発行と教員間での生徒情報の共有に努める。
	熱中症対策	<ul style="list-style-type: none"> ・保健委員を中心とした熱中症予防意識の向上と実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンカーテンの設置とWBGT計の活用による熱中症予防活動の定着に努める。
農場部	実験実習時の安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・農機具の整理整頓 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な農産物の生産のため、GAPやHACCPなどの考え方を生徒の指導に活用する。
	キャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・検定や資格取得指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒個々の顕彰獲得ポイントを把握し、生徒の指導に活用する。 ・合格率や平均点の数値目標を設定し、指導の効果を検証する。
	農業クラブ活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・競技会における効果的な指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種競技会における効果的な指導方法について協議・実践を図る。
第一学年	基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつの励行 ・身だしなみ指導の徹底 ・時間や期限を厳守 	<ul style="list-style-type: none"> ・ST、LT、授業、合同LT等の時間を活用し、指導する。 ・ハンドブックをもとに指導する。
	進路意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> ・授業、LTなどを通じた進路目標の立案 ・朝の学習を活用した基礎学力の向上および将来の進路における土台の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の夢を考えさせることで、進路目標を計画させる。その計画をもとに学習成績の向上や積極的な資格取得指導を推進する。
第二学年	基本的な生活習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつの励行 ・身だしなみ指導の徹底 ・時間や提出期限を厳守 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動を通して、指導する。ハンドブックをもとに指導する。
	進路実現に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・進路目標の確立、進路の実現における情報の収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ、進路LTなどを通じ、進路情報を自ら調査収集できるように指導する。 ・朝学を活用し、基礎学力の向上をはかる。 ・履歴書、求人票の見方を指導し、早期に進路目標を確立できるようにする。
第三学年	進路実現と実社会に適応できる能力の養成	<ul style="list-style-type: none"> ・早期に進路目標を確立 ・進路実現の達成 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路LT・ガイダンスを活用して進路意識を高める。 ・積極的な資格取得や、進路テストなどを活用して学力の向上をはかる。
	心豊かな生活を築く態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、敬語の適正使用、時間の厳守、身だしなみの徹底 ・学習活動への主体的取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・ST、LT、授業等の時間を活用してきめ細かい指導をする。 ・朝学を利用し、自ら学ぶ態度を身に着ける。
学校関係者評価を実施する主な評価項目	生徒の主体的な活動状況、情報発信の手法 保護者、地域とのつながり、部活動、農業クラブ活動 資格取得等の成果		